

1 道徳における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) 道徳の教科化までの流れ

① 教科化の検討

- 1) 教育再生実行会議「いじめ問題等への対応について（第一次提言）」（H25.2月）
道徳教育を新たな枠組みによって教科化し、人間性に深く迫る教育を行う。
- 2) 学習指導要領一部改正（H27.3月）
平成 30 年度 道徳の教科化 ……検定教科書を使用しての道徳科の授業開始

② 道徳に係る教育課程の改善等について 中央教育審議会答申（H26.10.21）

1) 道徳教育の使命

- ・ 人格の基盤は道徳性。
- ・ 道徳教育は人生を他者とともによりよく生きる人格の形成を目指すもの。
- ・ 道徳教育は学校教育の中核。多くの課題。 →改善は急務

2) 道徳の時間を「特別の教科道徳（仮称）」として位置付け

3) 目標を明確で理解しやすいものに改善

4) 内容をより発達の段階を踏まえた体系的なものに改善

- ・ 四つの視点の意義を明確化，順序の見直し。内容項目の改善。キーワードの活用。
- ・ 情報モラルや生命倫理など現代的な課題の扱いを充実。

5) 多様で効果的な指導方法へと改善

- ・ 言語活動。道徳的習慣や道徳的行為に関する指導。問題解決的な学習。

6) 検定教科書を導入

7) 一人一人のよさを伸ばし成長を促すための評価を充実

- ・ 多面的，継続的に把握し，総合的に評価。
- ・ 数値などによる評価は不適切。

③ 道徳教育が充実しない背景

1) 目標設定 道徳教育は，何を目指して行うか。

2) 重点内容項目 道徳教育の目標に向かってどのような内容を重点的に行うのか。

3) 指導時期，機会 学校独自の重点内容項目を，いつ，どのような機会に指導するのか。

4) 道徳の時間の内容 年間 35 時間の道徳の時間に，どのような内容を充てて指導するか。 → すべてを学校が独自に考え，決めなければならない。

④ 道徳教育充実のために求められること

- ・ 学校のカリキュラムマネジメント力 ・ 学校の組織力 ・ 校長のリーダーシップ

(2) 学習指導要領一部改正（H27.3月）

① 第1章 総則

1) 道徳教育の目標

道徳教育は，自己の生き方を考え，主体的な判断の下に行動し，自律した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

2) 配慮事項

ア 指導内容の重点化

- ・ 児童の発達の段階や特性等を踏まえ，指導内容の重点化を図る。
自立心や自律性，生命を尊重する心や他者を思いやる心を育てることに留意。

小学校 道徳

- ・ 1,2 学年 社会生活上のきまりを守ること。
- ・ 3,4 学年 善悪を判断し，正しいと判断したことを行うこと。
- ・ 5,6 学年 相手の考え方や立場を理解して支え合うこと。
法やきまりの意義を理解して進んで守ること。
集団生活の充実に努めること。 等

イ いじめ防止 安全確保

- ・ いじめの防止や安全の確保等にも資することとなるよう留意すること。

② 第3章 特別の教科道徳

1) 特別の教科道徳（道徳科）の目標

道徳教育の目標に基づき，よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，道徳的諸価値についての理解を基に，自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，自己の生き方についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。

2) 内容 キーワード

- A 主として自分自身に関すること ～善悪の判断, 自律, 自由と責任 正直, 誠実 等
- B 主として人との関わりに関すること ～親切, 思いやり 感謝 相互理解, 寛容 等
- C 主として集団や社会との関わりに関すること ～公正, 公平, 社会正義 等
- D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること ～生命の尊さ 等

3) 内容項目

- ・ 1,2 学年 16→19 項目 (A個性の伸長 C公正, 公平, 社会正義 国際理解, 国際親善)
- ・ 3,4 学年 18→20 項目 (B相互理解, 寛容 C公正, 公平, 社会正義)
- ・ 5,6 学年 22 項目変わらず

4) 配慮事項

ア 主体的な学習

- ・ 自らを振り返って成長を実感したり，これからの課題や目標を見つけたりする。
- ・ 児童自らが考え，理解し，主体的に学習に取り組むことができるようにする。

イ 言語活動の充実

- ・ 自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実する。

ウ 指導方法の工夫

- ・ 問題解決的な学習，道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れる。

5) 検定教科書

6) 評価

- ・ 児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し指導に生かす。
- ・ 数値などによる評価は行わない。

(3) 教科化に向け学校で取り組むべきこと

- ① 学校の道徳教育の目標を明確にする 「どんな児童を育てたいか」
- ② 学校の重点内容項目を明確にする 「どのような内容を重点的に指導するか」
- ③ 学校の重点内容項目に関わる具体的な指導の機会，時期を明確にする
「いつ，どのような機会に指導するか」
- ④ 学校の道徳教育の全体計画及び別葉の作成 … 計画的，発展的に補充，深化，統合
- ⑤ 道徳授業の確実な実施 … 年間指導計画の作成
- ⑥ 道徳の授業における子供の学習状況の把握 … 明確な指導観